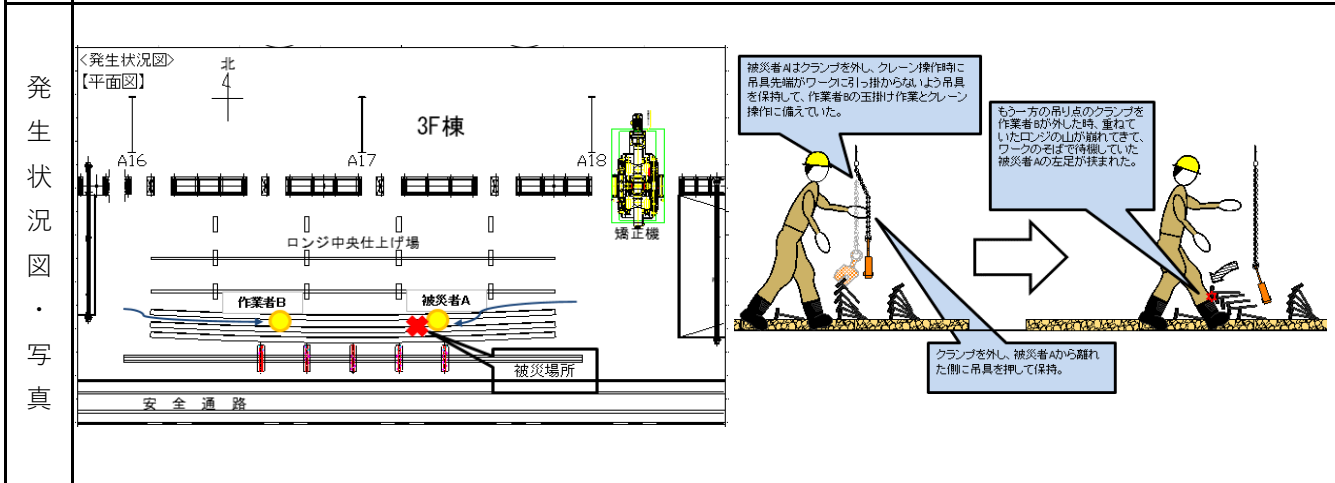


労働災害事例報告（不休）

登録番号	21-023						提出日：2022年 2月 日
支部名		支部	発生日時	2021年10月14日（木）22時55分			
発生場所	3F棟 ロンジ中央仕上げ場所						
被災者	氏名	A 氏		年齢	19歳10ヵ月	役職	一般
	直外区分	直営		勤務経験	1年6ヵ月	作業経験	9日
傷病名	左足腓骨・骨幹部骨折					休業日数	0日
災害の概要	ロンジ仕上げ作業場でL形クレーンにて、ワーク運搬重ね作業中、ワークが崩れ左足が挟まれ負傷した。					災害類型	④

災害 状況	10月14日（木）17：00	被災者Aは、始業ミーティング（TBM）終了後、通常業務に従事。 （保護具：安全帽子・ゴーグル・防塵マスク・耳栓・長皮手袋・安全靴（長） ・甲プロテクタ）
	22：55	被災者Aは、仕上げ作業終了したワーク（ロンジT Web 10×230×17604 Fig 20×100×17604）を所定の場所に、積み重ねる作業（玉掛）を、 作業員B（クレーン操作）と共同で行った。 被災者Aは、積み重ねた位置でクランプ（東側）を外した。 作業員Bは、もう一方（西側）のクランプを外した時、積重ねた ロンジが崩れ、玉掛作業位置でいた被災者Aは崩れ落ちたロンジに左足 を挟まれた。 作業員Bは、被災者Aをクレーンでロンジを吊り上げ退避させた。
	23：03	被災者Aを病院へ搬送。 0:20 専門医の診察が必要なため、入院して翌朝診察
	10月15日（金）9：50	診察：分離骨折でなく、1.5～2カ月で全治、軽作業の就業は可能。 同日の夜勤務は、臨時休業の為出社なし。
	10月18日（月）	通常出勤 軽作業に従事。



原因	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークを重ねた時の荷姿が不安定で規定ルール外であった。 ・吊り荷姿が長尺で大きいたわんでいた。（長尺対応ルールが守れていない） ・挟まれる危険のある場所で作業した。
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事象にあった規定を設定。 ・長尺（長さ15m以上）のロンジは天秤使用の再周知。 ・外部教育機関にて、KYT講習を受講。

【災害類型】 ①墜落・転落 ②転倒 ③飛来・落下 ④挟まれ ⑤巻き込まれ
⑥切れ・擦れ ⑦熱傷 ⑧感電 ⑨火災・爆発 ⑩その他

注) 網掛け部の記入は任意とする。それ以外は必ず記入をお願いします。

登録番号は、事務局で整理のため登録します。

氏名は、記載しないでください。A氏（複数の場合、B氏、C氏・・・）